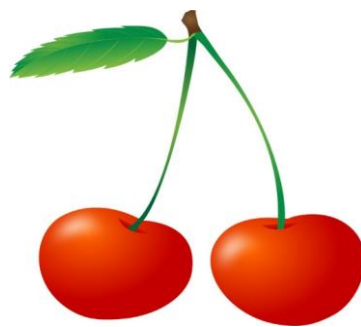


2020年度

(令和2年度)

社会福祉法人イリアンソス

# 事業計画



## 目次

### 第1 2020年度イリアンソス事業計画について

- 1 法人の理念
- 2 情勢展望
- 3 法人事業方針
- 4 事業方針の具体化
- 5 法人運営計画
  - (1) 法人役員
  - (2) 職員体制
  - (3) 理事会・評議会開催計画
  - (4) 法人会議計画
  - (5) 家族会
  - (6) 研修計画
  - (7) 施設整備計画
  - (8) 職員採用計画
  - (9) 事業所別利用状況
  - (10) 担当者会

### 第2 事業別計画

- 1 日中支援部門
  - (1) 重点課題
  - (2) 各事業所の計画
    - 1) のぞみの家
    - 2) 活動センターかなえ
    - 3) なかまの家
- 2 生活寮部門
  - (1) 重点課題
  - (2) 各事業所の計画
    - 1) 生活寮そら
    - 2) 生活寮にじかぜ短期入所
- 3 余暇・居宅部門
  - (1) 重点課題
  - (2) 各事業所の計画
- 4 相談部門
  - (1) 重点課題
- 5 事務部門
  - (1) 重点課題

## 第1 2020年度 イリアンソス 事業計画について

### 1. 法人の理念

- 1 障害のある利用者一人一人を「主人公」として、生きてきたそれぞれの歴史を大切に、これからの人生を共に考えていくことのできるきめの細かい丁寧な実践をすすめます。
- 2 職員一人一人が見通しと目標を持って仕事に立ち向かい、自らの成長への願いと力量を高めていくことのできる職場づくりをすすめます。
- 3 利用者、家族、職員、役員など法人を構成する一人一人の意見が決定の過程に反映され、理解と納得のもとに実行に移していくことのできる組織運営をすすめます。
- 4 時代の変化や地域の要請に応じていくことのできる法人、施設として経営基盤の確立を求めつつ新たな事業展開をしていきます。

### 2. 情勢展望

国は「全世代型社会保障改革」として、給付と負担のあり方の検討をはじめました。年金、介護、医療などの分野に大きな負担を強いようとしています。障害福祉においても、ここ数年、「効率・成果主義」が強められ、障害のある人たちの仕事や暮らしに、大きな影響をもたらしています。就労系事業所は「生産性」を評価した報酬体系となり、雇用の場では相変わらず福祉的支援が受けられず、障害のある人の働く権利は侵害されています。

そんな中で、新型コロナウイルス感染症の流行拡大が法人内に不安を広げています。障害のある人は平時から健康面や精神面の不安を抱えている場合が多く、また、万が一罹患した場合には相当な健康被害が及ぶ可能性が高いと考えられます。一方、事業所では対策を講じながら、障害のある人のくらしを支える活動を懸命に継続しています。市内の事業所やきょうされん東京支部とも情報共有などで連携し、東京都や自治体に対して正確な情報、支援をお願いしていきます。

#### 人権に影響を及ぼす裁判に強い関心を

議員立法により平成31年4月24日に成立した「旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者に対する一時金の支給等に関する法律（一時金支給法）」は、障害のある人の尊厳を踏みにじった優生保護法の被害者の人権回復には程遠い内容で、国の責任は全く明らかにされていません。

そのため、旧優生保護法の下で知的障害を理由に不妊手術を強制されたのは違法だとして、国に損害賠償を求めた訴訟が行われています。東京でも原告である北さん（仮名）も自分の人権を取り戻すために国を訴えています。東京地裁の傍聴及び学習会に参加し応援してきています。それ以外にも人権にとって

大切な裁判は、生活保護費が最大1割減額された生活保護基準引き下げの撤回を求める裁判、そして、いわゆる「65歳問題」の裁判もあります。自らの意思で社会参加を目的とした総合支援法の適用から、目的の異なる介護保険法を適用され、個人としての尊厳を大きく傷つけられています。勝訴した広島での浅田裁判判決後も、一地方での判決として国は改めようとしません。現在、千葉でも天海裁判として行われています。

#### **実態を浮き彫りにして事業所を守る**

きょうされんがおこなった「2021年度の報酬改定に対する緊急要望書」の団体署名にとりくみました。また、「送迎支援についての実態調査」や「昼食提供と食事提供体制加算についての実態調査」にも協力しました。その調査内容からは、送迎の大切さや昼食の提供のなかで、一人ひとりに合わせた支援の実態が見えました。2020年度の報酬改定で議論されている加算の廃止を阻止していかなければいけません。この調査を根拠として、きょうされん運動に参加し事業所の運営を守るための運動を行っていきます。

### **3 法人事業方針**

#### **(1) 一人ひとりの利用者に合わせた支援を行うために**

法人が設立して23年が経過し、20歳代であった利用者も40歳代と年齢を重ねてきています。同時に親御さんの高齢化もあり、ますます障害のある方たちの支援を家族支援から社会支援にシフトしていかなければなりません。

しかし、社会支援といってもマニュアルがあるわけではなく、一人ひとりの暮らしに基づいて取り組んでいく必要があります。「地域で安心して」を実践していくためにも、家族の方々の協力と地域の理解、職員などのスタッフのチーム力がかみ合った支援をめざしていきます。

#### **(2) 人材確保と育成**

スタッフの人材不足から脱することはなかなか容易なことではありません。しかし、法人の離職者は本当に少ないです。安定した運営、法人全体のスタッフの協力関係による働きやすい職場づくりなどがよい情報となり、今年度は若干名の新人職員を雇用することができました。これにより、新人職員も含めて職員全体の育成に力を入れることができます。

そして、職場の異動も実施しました。そのことで、法人全体の利用者や家族、事業に目を向けることができる職員の育成にも力を入れていきます。

人材確保の好循環を維持し、職員・スタッフ一人ひとりがこの事業に魅力を感じられ、あたらな人材確保ができるよう努力をしていきます。

さらに、積極的に研修や見学など他法人とも協力して取り組みたいと考えています。

### **(3) 事務の一本化の実現と事業の連携**

事務の一本化を実施して4年目となります。5事業所に分かれているなか、連携して取り組んできています。今年度は、勤怠ソフトを導入し固定労働制と変形労働制の職員が連携でき、事務職員の負担を軽減する仕組みを作っていきます。

また、2021年度の報酬改定に向けて、事務員と現場職員が連携し、毎月の事業実績やケース記録、スタッフ配置、常勤換算状況などを集団でまとめていくことで、それぞれの事業が法的根拠を維持していることを確認できる仕組みを充実していきます。

### **(4) 専門職との更なる連携**

昨年度より担当者会議を定期的に行うことができました。今年度も健康衛生などで看護師・作業療法士・栄養士などの専門職のアドバイスを共有することを大切にしていきます。また、昨年度から行っている相談支援事業を活用して専門職や他事業所の職員との連携会議を今年度も実施します。そのことで利用者の支援を一事業所だけで担うのではなく、チームで支援する仕組みを増やしていきます。

### **(5) 利用者・家族会の意見を反映**

昨年度は、全体家族会を2回行いました。1回目は法人の事業報告、事業計画の内容をお伝えし、2回目は成年後見制度の学習会を行いました。これは、家族から今後必要となる制度やその仕組みを学びたいという要望をもとに実施しました。今年度も家族のからの要望を踏まえた学習会を実施したいと考えています。

## **4 事業方針の具体化**

### **(1) 長期計画の策定**

1) 法人の方向性を示す長期計画の策定を行っていきます。

ア. 法人のめざすものの確認

イ. 今後必要とされる事業

ウ. 人材育成について

エ. 修繕計画

### **(2) 3ヵ年計画の策定**

1) 長期計画をもとに3年ごとの計画を立てます。

ア. 長期計画に基づいた3年間のやらなければならないこと

イ. 資金の積み立て計画（次の事業の立ち上げに向けて）

2) 各部門での共通課題について

ア. 法人部門

イ. 通所部門

ウ. 生活寮部門

エ. 余暇・居宅・相談部門

オ. 事務部門

法人事務作業の一本化と勤怠ソフトを使った事業所毎職員配置の見える化、事務職員のサービス区分から拠点区分の会計把握スキルを上げていくための研修を進めていきます。

- 3) 利用者の受け入れ状況（定員の確保状況）
- 4) 職員の配置について
- 5) 利用者の年齢に基づいた支援の確認

## 5 法人運営計画

### (1) 法人役員

1) 理事・監事

ア. 定数 理事7人 監事 2人

イ. 任期 平成31年3月15日～2年後の定時評議員会終了まで

2) 評議員

ア. 定数 8人

イ. 任期 平成29年3月15日～4年後の定時評議員会終了まで

3) 評議員選任解任委員

ア. 定数 3人

イ. 任期 平成29年3月1日～4年後の定時評議会終了まで

4) 法人事務局員 2名

(2) 職員体制

		常勤（上段）					
		非常勤（下段,カッコ内の数字はパート）					
		施設長	サビ管	主任	支援員	事務	小計
日中支援部門	のぞみの家	1	1	1	4（内欠1）	1	8（内欠1）
					3（2 5）	（1）	3（2 6）
	かなえ	1	1	2	3		7
					3（1 2①）	1（①）	4（1 3）
なかまの家		①		1	3		4
					（9）	1	1（9）
生活寮部門	うみ	①	1		2	1 （内欠1）	1 5 （2 1（内欠1））
					（9）		
	そら			1	2		
					（4）		
にじ		1	3				
				（5）			
かぜ		1		3			
				（3）			
余暇・居宅・相談部門	このみ	①	1		1		3
					1（9）	（①）	1（1 0）
	日中移動						2
					1（5）		1（5）
相支		①				1	
		①			①	（①）	1（1）

※○に数字は兼任 欠は欠員

※サビ管はサービス管理責任者の略

※かなえ＝活動センターかなえ

※放課後＝放課後等サービス

※日中＝日中一時支援事業

※移支＝移動支援事業

※相支＝イリアンソス相談支援センター

事業所名	定員							現員	備考
	日中部門	生活寮部門		余暇・居宅相談部門					
		生活介護	生活援助	短期入所	放デイ	移動支援	日中一時		
のぞみの家	20							25	
かなえ	40							24	
なかまの家	20							14	
生活寮そら		28						28	
短期入所			2					2	1日の定員
このみ				10				35	
					※1			54	登録者数
						※2	5	54	登録者数
相談支援							52	52	依頼件数
部門別定員合計	80	28	2	10					

○「かなえ」→「活動センターかなえ」

○「生活援助」→「共同生活援助」

○生活寮の定員は、7名の4ユニットの合計

○このみの「定員10」は、1日の定員数・「現員35」は登録者数

※1 移動支援の定員は設定なし・「現員54」は登録者数

※2 日中一時の「定員5」は同時サービス利用者の定員数・「現員54」は登録者数

○相談支援は、モニタリング・利用計画を含む



### (3) 理事会・評議会開催計画

#### 1) 理事会

第1回理事会：令和2年06月17日（水曜日）

平成31年度事業計画、決算、監査報告 他

第2回理事会：令和2年09月16日（水曜日）

令和2年度補正予算 他

第3回理事会：令和2年12月16日（水曜日）

令和2年度補正予算 他

第4回理事会：令和3年03月24日（水曜日）

令和2年度補正予算、令和3年度事業計画、予算 他

#### 2) 評議員会

第1回評議員会：令和2年06月17日（水曜日）

平成31年度事業計画、決算、監査報告 他

第2回評議員会：令和3年03月中（水曜日）

法人事業の状況について（予算案の説明）

### (4) 法人会議計画

部門長会議 月1回 理事長、部門責任者、事務部門責任者

※ 事業計画に基づいた事業運営における情報共有及び課題解決に責任を持つ

法人事務局会議 月2回 理事長、各施設管理者

※ 法人運営を中心に実施

### (5) 家族会

法人全体家族会 年2回実施予定。

※第1回 法人活動報告、第2回目、学習会または交流会を予定。

### (6) 研修計画

通所事業所職員は、施設長と相談の上しながら最低2日は研修会に参加し事業所へのフィードバックを行う。生活寮は、専門家を招き継続的に実践を振り返りながら利用者支援についての学習を行う。また、法人や各事業所において

以下の研修会を開催する。

- 1) 新人研修：「法人の歴史と理念と目指すもの」「法人職員として大切なこと」「各事業所のとりくみと大切にしていること」「現場見学実習」をそれぞれのテーマで4日間行う。
- 2) 法人職員研修：施設長とサビ管が中心になり法人として必要な研修を行う。
- 3) 虐待防止研修：各事業所の虐待防止委員が中心になり事業ごとに研修を行う。
- 4) 担当者会：担当者会で最低一回はテーマに応じた研修を行う。
- 5) 通所施設長研修：通所施設長が各通所事業所に一週間通勤し、事業所の運営や取り組みを把握し今後の法人運営に役立たせる。

書式を変更：フォント：(英) 游明朝, (日) 游明朝,  
太字, フォントの色：自動

書式を変更：フォント：(英) 游明朝, (日) 游明朝,  
太字, フォントの色：自動

書式を変更：フォント：(英) 游明朝, (日) 游明朝,  
太字, フォントの色：自動

## (7) 施設整備計画

### 1) のぞみの家

#### ア. 外壁工事 (外部改修工事)

のぞみの家の外壁にあるタイル、山田うどん側3階から4階に行くための階段にある窓の部分のクラック工事をおこないます。

見積金額 7, 884, 000円

【内訳】 工事費用 7, 300, 000円

消費税額 584, 000円

#### イ. エレベーター工事

のぞみの家建設当時に導入したエレベーターの交換工事です。現行の基準に該当していませんが、メンテナンス等を行うことで稼働させることが出来ています。耐久年数は、17年前後・実働的には20年前後との事でした。また、工事期間は1週間から2週間前後となるとの事です。その間の活動の保障も含めて、かなり大規模の工事になります。

見積金額 23, 760, 000円

【内訳】 工事金額 22, 000, 000円

消費税額 1, 760, 000円

#### ウ. 車両

のぞみの家の車両は、『生活寮にじかぜコース (ハイエーススーパーロング: 車椅子4つ)』が110, 000キロとなっています。通所されている方にとって、大事な移動手段です。整備・購入を計画的に進めていきます。

生活寮にじかぜコース

見積金額 3, 456, 000円

【内訳】 工事金額 3, 200, 000円

消費税額 256, 000円

#### エ. 駐車スペース工事

基礎が沈下していて、段差が大きくなっています。車いす利用者が多いため、段差を乗り越える際、職員・利用者の負担が年々大きくなってきています。また、駐車場に入るための門扉が老朽化しているため、併せて取替工事が必要です。

見積金額 2, 939, 200円

【内訳】 工事金額 2, 672, 000円

消費税額 267, 200円

#### オ. 非常用電源

設置後、20年が経過しようとしています。近年エンジントラブル・基盤トラブルの修繕が多くなっております。本体の交換を考えています。

見積金額 12, 000, 000円

【内訳】 工事金額 12, 000, 000円

## 2) 活動センターかなえ

ア. 車両関係では、スタットレスタイヤの買い替えとドライブレコーダーの設置を順次行う。また、10万キロを超えた車両は、定期点検にだす。

### イ. その他備品

利用者にあわせ、利用者支援に必要な備品の購入をします。

## 3) なかまの家

ア. トイレの手すり設置を実施します。

利用者が安全に利用できるよう手すりを壁に設置します。しかし壁が薄く補強を行わないと設置がむずかしいとのことです。工事期間など丁寧に進めていきます。

見積金額 550,000円

【内訳】工事金額 500,000円

消費税額 50,000円

イ. 配膳室に滅菌庫(消毒庫)の設置をします。

衛生を保つために滅菌庫(消毒庫)の購入・設置をします。

見積金額 550,000円

【内訳】購入金額 500,000円

消費税額 50,000円

ウ. 修繕・改修

なかまの家の建物は20年を経過し少しずつ修繕箇所が増えてきています。建物は市の所有なので市と協議しながら計画性をもってすすめていきます。特にトイレの換気扇が稼働はしていますが吸い込みが弱く、匂いがこもりやすくなっています。市と相談しながらすすめていきます。

## 4) 生活寮

ア. うみエレベーター修理工事

見積金額 300,300円

【内訳】工事金額 273,000円

消費税額 27,300円

イ. そらエレベーター修理工事

見積金額 300,300円

【内訳】工事金額 273,000円

消費税額 27,300円

## 5) このみ

ア. 車両

利用者の拡大に伴い、様々な学校への迎えも昨年度から増えました。現在は、スタッフが学校に迎えに行きそこで待機し、他の学校への送迎後に迎えに来てもらう送迎体制を組んでいます。安定した送迎体制を組めるように車両購入をおこないます。

書式を変更: フォント: (英) 游明朝, (日) 游明朝, 太字, フォントの色: 自動

書式を変更: フォント: (英) 游明朝, (日) 游明朝, 太字, フォントの色: 自動

購入については、令和元年度までの積立金を利用し購入します。

見積金額 1,220,000円

【内訳】工事金額 1,109,091円

消費税額 110,909円

#### イ. 備品

夏季活動時の暑さ対策として、自作の(タープ)を配置しましたが、強度が弱くすぐに破損してしまいました。子どもたちの健康面も考慮し(タープ)の配置工事を行います。

令和元年度申請、2年度使用の赤い羽根共同募金での配分を推薦して頂けることになりました。よって購入の準備を致します。

見積金額 269,000円

配分申請額 200,000円

配分推薦額 148,000円

自己負担額 121,000円

#### 6) 事務部門

当法人では、事務の1本化を図るため、職員配置と勤怠管理を1か所に集約することが必要となりました。また、近年、事業所間で働く方が増え、労務管理や申請に必要な勤務形態を管理する面から導入をします。

#### ア. 勤怠ソフト

見積金額 1事業所当たり12,000円/月と導入時ハードウェア機器

#### (8) 職員採用計画

令和2年度は4名の新規採用者を迎えることが出来ました。今後は計画的な採用をしていきます。

現在、専門的職業として看護師・PT・栄養士を非常勤として採用していますが、現場の意見を反映しながら採用をしていきます。

(9) 事業所別利用状況

1) のぞみの家

身体障害者 及び 知的障害者		愛の手帳（知的障害）						
		1度	2度	3度	4度	なし	合計	
身体 障害 者 手 帳	1種	1級	5	6		3	2	16
		2級		4				4
		3級						0
		4級		1				1
	2種	5級		3				3
	なし						1	1
	合計		5	14		3	3	25
区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	合計		
22	2	0	1	0	0	25		

2) 活動センターかなえ

身体障害者 及び 知的障害者		愛の手帳（知的障害）						
		1度	2度	3度	4度	なし	合計	
身体 障害 者 手 帳	1種	1級		1	1			2
		2級						
		3級		1				1
	2種	2級						
		3級						
		4級		1				1
	精神3級				1			1
	なし		1	14	4	0		19
合計		1	17	6	0	0	24	
区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	合計		
11	8	5	0	0	0	24		

3) なかまの家

身体障害者 及び 知的障害者		愛の手帳（知的障害）						
		1度	2度	3度	4度	なし	合計	
身体 障害者 手帳	1種	1級		2	1			3
		2級		1				1
		3級		1				1
	2種	2級						0
		3級		1				1
		4級						0
	なし		8					8
合計		13	1				14	
区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	合計		
11	2	1	0	0	0	16		

4) 生活寮

身体障害者 及び 知的障害者		愛の手帳（知的障害）						
		1度	2度	3度	4度	なし	合計	
身体 障害者 手帳	1種	1級	1	5	1	3		10
		2級		3				3
		3級						0
		4級						0
	2種	4級		1				1
		5級						0
	なし		1	10	2	1		14
合計		2	19	3	4	0	28	
区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	合計		
23	4	0	0	0	1	28		

5) このみ(放課後等デイサービス・日中一時・移動支援含む)

身体障害者 及び 知的障害者		愛の手帳(知的障害)						
		1度	2度	3度	4度	なし	合計	
身体障害者手帳	1種	1級		2				2
		2級		1				1
		3級			1			1
		4級			1	1		2
		5級						
	2種	1級						
		2級						
		3級			1			1
		4級	1					1
		5級						
	精神2級						2	2
なし		1	11	15	16	10	53	
合計		2	14	18	17	12	63	

区分(放課後等デイサービス利用者35名)

区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	合計
0	0	0	0	5	30	35

## (10) 担当者会

### 1) 防災環境

#### ア. ヒヤリハット・事故報告書の共有

各事業所から報告されるヒヤリハットや事故報告書を、「どうしたら防げるか」という組織的な問題として考えていけるよう意識作りをしていきます。

#### イ. 防災について

実践的な避難訓練に向けて各事業所で年間計画を作成し実施していきます。また発電機や備蓄品、持ち出し袋など、保管場所や使用方法など各事業所で確認・周知していきます。

#### ウ. 環境について

安心・安全な環境づくりを目指し、各事業所で年間計画を作成し実施していきます。また情報の共有を図っていきます。

### 2) 健康衛生

#### ア. 情報の共有について

各事業所の課題（実態）を持ち寄り、情報交換することで、法人全体の保健や衛生、食事に対する意識向上を目指します。

利用者の姿を24時間包括的に捉えるため、生活寮の担当者を含め、情報共有をします。

専門家である栄養士・看護師を加え、アドバイスや意見を取り入れながら、利用者の健康増進に向けた具体的な取り組みを提案します。

#### イ. 食事について

個々に合わせた食形態を継続的に提供するとともに、成人病予防のための配慮食提供や口腔衛生のケアなどができるよう話し合いを積み重ねます。

#### ウ. 保健について

利用者の高齢化に向け、医療と連携し、必要な知識を学ぶとともに、より良い生活が送れるような支援を考えます。

東京オリンピック等の開催にあたり、感染症対策として衛生に関する知識を正しく理解します。

### 3) 車両送迎

#### ア. 危機管理の向上について

「運転傾向のチェックシート」と以前におこなった「自動車教習所の評価」を見直して、改めて自らの運転を振り返ります。未実施の事業所も含めて、事故訓練をおこないます。

#### イ. 車両管理について

車両管理表を使用して、各事業所の車両購入計画を立てます。修理状況を確認しながら、日々のメンテナンスにつなげていきます。車両購入の際には、走行距離・修理履歴・必要度・管理方法などを議論した上で進めていきます。



#### **4) 広報部会**

##### **ア. 定期発行について**

年4回発行して、法人の情報を発信します。年間の会議日程を決めて、定期発行できるようにしていきます。

##### **イ. 内容の充実について**

理事長の散歩道・特集・職員リレー・活動報告は継続していきます。レイアウト等を変更して、更に見やすい工夫をおこなっていきます。

#### **5) 虐待防止委員会**

##### **ア. 虐待防止の為に支援の質を向上させます**

年に3回、委員会を開催して、虐待防止に向けた話し合いをおこないます。身体拘束についても振り返りをおこない、日々の支援に活かしていきます。今年度の虐待防止の研修会は各事業所でおこないます。

## 第2 事業別計画

### 1 日中支援部門

#### (1) 重点課題

- 1) 喫茶事業を利用者が「実習」「研修」等を経て働く場としての環境を整えます。
- 2) 各担当者を軸に利用者の安全や安心を保障できる環境づくりを進めます。引き続き、生活寮やこのみにも情報提供や各会議に参加できるように工夫します。
- 3) 職員は障害のある人の発達の課題や障害特性、加齢にともなう配慮について学ぶため、積極的に研修の参加や報告をおこないます。
- 4) 各事業所のサービス管理責任者は法人利用者の状況や活動内容の確認などをおこない実践を高めていけるよう連携し、交流会や事業報告会や研修等を開催します。
- 5) 第三者評価の受審します。

#### (2) 各事業所の計画

##### 1) のぞみの家

###### ア. 重点課題

(ア) 支援の根拠を明確にします。

個別支援計画を基に日々の支援をおこないます。支援提供の記録を通して、支援のねらいや目的を明確にしながら職員・パートスタッフで共有します。

(イ) 業務の振り返りをおこないます。

P D C A表を活用して、定期的に業務の振り返りをおこないます。業務の改善や仕組みづくりに活用して、業務の実効性を高めていきます。

(ウ) 地域に開かれた施設を目指します。

社会福祉法人連絡会と連携しながら、相談窓口設置に向けて検討していきます。地域のニーズ把握を通して、社会福祉法人が求められている役割を考えていきます。その中で、のぞみの家でできることを考えていきます。

(エ) 職員採用と教育体制を整えます

男性職員を採用して、支援の充実を図ります。職場内研修(OJT)で職員教育をおこなっていきます。施設のキャリアパスに沿って職員の仕事を振り返っていきます。

(オ) 経営管理から

月次報告の予算執行状況と照らし合わせながら、各担当業務の振り返りをおこないます。

## イ. 各班の重点課題

### (ア) チャレンジドリームズ班

ア) 地域との繋がりを大切にしていきます。

ケーキ販売やリサイクル店、物品取り組みを通して社会参加することにより、やりがいを感じられるようにします。利用者が主体的に取り組めるよう、それぞれのペースを大切に、持っている力を最大限に引き出せるよう、待つ支援を心掛けます。

イ) 個々のニーズに合わせた活動内容を考えていきます。

ストレッチ、足浴、姿勢づくりなど、身体機能維持を目指した個別プログラムを積極的に取り入れていきます。自分自身でも意識し、発信、選択していける環境作りを目指します。

### (イ) 元気なたんぼぼ班

ア) 個々の年齢や身体の状態に合わせた、柔軟な活動内容を考えていきます。

専門職（PT）と連携を取りながらストレッチメニューの作成や修正を行いながら現在の身体機能を維持していけるように活動していきます。また、個々の体調に合わせて無理のない活動をしていきます。

イ) 活動を通して地域とつながります。

パックの回収先拡大や他団体主催の作品展への出展、リサイクル久留店の参加を通して活動の様子や地域とつながっていきます。

### (ウ) おひさま班

ア) 絵画活動を通して、地域に力を発信していきます。

現在参加している絵画展や作品展への参加を継続していきます。その他に多団体の参加可能な作品展に出展します。より多くの方に絵を観てもらえる機会が増える事が期待できます。

備品や額が老朽しています。絵画活動を充実させるために備品等を購入します。

イ) 24時間の生活を視野に入れた健康管理、機能維持に努めます。

食事、睡眠、排泄など健康状況を把握し、家庭、寮だけでなく、主治医、PTなど専門家とも連携しながら健康維持に努めます。必要に応じて支援会議を行っていきます。加齢による変化を見極め、必要に応じたストレッチプログラムの見直しも行い、日々のプログラムも継続して行います。

## ウ. 仕事

(ア) 自主製品 目標金額 150,000円

物品販売や作品展で販売します。利用者主体で作れるような製品づくりを目指し、それに応じた値段設定を行いません。

(イ) ケーキ 目標金額 750,000円

消費期限の表示の改正をし、衛生的な環境のもとケーキを製造します。材料費の高騰により販売価格の見直しを行います。カフェてんへのケーキ納品を継

続します。

(ウ) 喫茶 目標金額 60,000円

販売内容を利用者自治会で決定し、在庫数と賞味期限と利益の把握をおこないます。

(エ) お茶・ふきん 目標金額 75,000円

担当利用者中心に営業、販売に力を入れます。

(オ) オムツ 目標金額 740,000円

担当職員と連携して、お金のやり取りミスがないようにします。

(カ) データ入力 目標金額 5,000円

埼玉福祉会と丁寧連絡をとり、仕事につなげていきます。

(サ) リサイクル久留店 目標金額 200,000円

利用者の体調を考慮しながら開催時期を検討します。少人数での開催など、工夫をしながら利用者主体で進め、やりがいのある仕事として継続します。

(キ) きょうされん物品販売 目標金額 1,700,000円

回数、時期を見直し、無理のないスケジュールで取り組みます。

(ク) 資源回収 目標金額 20,000円

回収先の拡大をし、地域とのつながりを目的とした仕事とします。卸作業は1ヶ月に1回行きます。

## エ. その他の活動

(ア) 機能訓練

理学療法士と相談しながら個別のストレッチプログラムを作成します。プログラムに沿って日常的にストレッチを実施し、必要に応じた見直しを行います。

(イ) 給食

ハサップに基づいた衛生管理を行います。スチームコンベクションを導入し、安全な調理、より食べやすい食形態を追究します。

(ウ) 旅行

利用者の要望、健康面を考え、旅行の目的を明確にします。昨年同様4回の旅行を計画します。

(エ) 作品展

地域、社会への発信を広げ、活動の積み重ねの発表の場とします。準備、開催が利用者主体となるよう計画立案していきます。

(オ) 地域行事

特別支援学校の祭りに参加します。季節、体調を考慮しながら利用者主体の行事参加になるよう計画します。

(カ) 会議（施設長）

会議の目的を明確にして、検討事項を絞りながら開催します。決定事項が実行に移せるような仕組みにします。

(キ) 実習生

介護等体験・介護福祉士の大学生を積極的に受け入れます。オリエンテーションをおこない、実りある実習になるとともに、障害福祉の意義も伝えていきます。

(ク) ボランティア

施設の情報発信をしていき、より多くのボランティアが参画できるようにします。ホームページでも、ボランティア情報を掲載して、より身近な存在となるようにしていきます。

(ケ) 研修 (& 研修主担当)

階層別に年間の研修計画を立てて、積極参加します。施設内で研修報告会をおこない、学んだことを実践に役立てていきます。

**オ. 消防計画**

具体的な場面を想定し、利用者の実態に即した防災訓練を行ないます。消防署と連携しながら、通報訓練など訓練の幅を広げることを検討します。

**カ. スケジュール**

**(ア) 1日**

時 間	おひさま班・元気なたんぽぽ班・チャレンジドリームズ班	スタッフ
8:30		朝礼
8:40		送迎開始及び受入れ準備
9:00	受入れ	活動支援
10:00	各班で朝の会・ラジオ体操 室内作業 外作業 (休憩)	
12:15	室内作業 外作業 昼食・休憩	昼食支援
13:30	チャレンジドリームズ班 仕事開始	活動支援
14:00	おひさま班・元気なたんぽぽ班 活動開始 室内作業 外作業	
15:00	帰りの会	
16:00		送迎 掃除
17:00		終礼

(イ) 1週間

	月	火	水	木	金
午前	資源回収 和紙作り 絵画 売上計算 ケーキ作り	資源回収 和紙作り 絵画 売上計算 ケーキ作り	資源回収 和紙作り 絵画 売上計算 ケーキ作り	資源回収 和紙作り 絵画 売上計算 ケーキ作り	レク (月1回は 外出レク)  調理 散歩
午後	ストレッチ ケーキ作り ダンス	ストレッチ ケーキ作り ボーリング	ストレッチ ケーキ作り トランポリン	自治会 ケーキ作り ボールプール	

(ウ) 1年間

	のぞみ内 行事	地域行事
4月	おひさま班 宿泊旅行	
5月	利用者健康診断	
6月	たんぼぼ班 宿泊行事	国際美術大賞展
7月	きょうされん 夏季物品販売	特別支援学校夏祭り
8月		東京都障害者美術展
9月	おひさま班 宿泊行事	いのちかがやけ作品展
10月		地域センターまつり
11月	チャレンジ班 宿泊旅行 きょうされん 冬季物品販売	特別支援学校文化祭 青少協まつり
12月	のぞみの家作品展	
1月		
2月	きょうされんバレンタイン物品販売	ぴゅああーと展
3月	きょうされんホワイトデー物品販売 がんばろう会 (のぞみ屋外で焼肉)	

## 2) 活動センターかなえ

### ア. 重点課題

(ア) 利用者の増加を見通し、班編成を検討します。

2名の新入所者を予定しています。班の構成人数が増えてきているため、3班から4班編成への移行を具体的に検討します。また、必要に応じて空いている部屋を利用しながら、利用者それぞれに合った活動ができるように検討します。

(イ) 正規職員を1名採用します。

(ウ) 喫茶で働くことができる利用者の増加に向けて、引き続き実習などの機会を設け、いろいろな利用者に関われるようにします。

(エ) 給食の検討を行います。

現在、弁当の形で昼食を提供しています。配膳して提供するなど、その他の形も含めて検討します。利用者にとって良いものとなるように検討し、決定します。

### イ. 各班の重点課題

#### (ア) なのはなグループ

ア) 落ち着いて活動する事ができる環境をつくります。

誰かひとりでも落ち着く事ができないと班全体が落ち着けなくなる事があります。皆が落ち着ける静かな環境を作ります。必要に応じて作業室とは別の場所で休憩する事も考えます

イ) それぞれの利用者にあった室内活動を検討し取り組みます。

現在行っている室内活動を見直し、それぞれの利用者にあった活動内容を検討します。また利用者と相談の上、月に1、2回のペースで創作活動を行う事も検討します。

ウ) 健康の維持・改善 身体機能の維持・改善を図ります。

健康な身体を維持・改善するため、積極的にウォーキングやストレッチなど体を動かす時間を保障します。また、医療やリハビリなど専門家と連携し体調を把握します。ストレッチに関しては現在行っている内容の見直しも検討します。

#### (イ) だるま班

ア) 自己表現できる活動として創作活動を充実させます。

自己表現の場として、さまざまな画材を使用できるよう、また選択して行けるよう環境設定をしていきます。部屋を分けるなど集中して創作活動が取り組めるように環境づくりをします。

イ) 『グッズデザインコンクール』『びゅああーと展』などの作品展に応募します。また発表する場として今年度も『作品展』を開催します。

ウ) 和紙作りの作業を分担しながら取り組みます。

牛乳パックちぎりから紙すきまでの工程を、班として取り組んでいます。

『おはながみ』を使用して色をつけて取り組んでいます。利用者にあった取り組み方を検討するとともに、製品にしていくことを目標に取り組みます。

エ) 利用者それぞれにあった作業内容を検討していきます。また、新しい作業にもチャレンジしていきます。

#### (ウ) ちゅーりっぶ班

ア) 仲間同士の関わりを大切にしながら、落ち着いて過ごせる環境をつくりま

す。  
新入所の利用者が増えます。利用者同士の交流を通して、新しい環境に慣れていけるよう和やかな雰囲気作りをします。

イ) 前向きに日々活動していけるよう役割のある場面をつくりま

す。  
利用者一人ひとりにあった係を自治会で話し合っ

て決め

ます。各自が役割を持ち率先して取り組めるよう、引き続き輝ける場面をつくりま

す。また、自治会ではさまざまな意見を出し合

い、みんなで確認をしながら進めます。  
ウ) 自主製品を作製し、販売会を開催しま

す。

日々活動で取り組んでいる手芸類を商品化し、完成した喜びを味わえるよう

に取り組みま

す。  
エ) さまざまな作品展に応募しま

す。  
月一回、創作(絵画)の時間があります。発表する場として事業所の作品

展、その他グッズデザインコンク

ール、ぴゅああーと展などに出品しま

す。  
オ) 身体機能の維持・改善を図りま

す。  
専門家(医師・OT・看護師・栄養士など)と連携して利用者の健康維持に努

めます。

**ウ. 仕事**

売り上げ目標金額と取り組み内容

(ア) 資源回収・おろし 目標金額 200,000円

アルミ缶回収の周知などをチラシやお便りなどを作成し回収量のアップにつ

ながめます。倉庫を利用して回収する資源を増やしま

す。  
(イ) 市報配布 目標金額 300,000円

配布し忘れてしまうことないよう配布箇所を確認し、分かりやすいように工

夫しま

す。  
(ウ) 自主製品 目標金額 50,000円

利用者の日々行っている仕事が、収入につながるよう自主製品の品質を高

めてい

きます。また利用者増に伴い、額を購入することを検討して

います。年間

を通して計画的に製品づくりができるよう取り組んでい

きます。  
(エ) 空き地の整備 目標金額 200,000円

市より委託を受けて、かなえに隣接する空き地の整備を行

いません。  
(オ) 情報誌ばど配布 目標金額 50,000円

毎月、南沢2丁目と学園町2丁目の合計700枚を配布しま

す。利用者の安



全と健康に気を付けて、配布期日を守って取り組みます。

(カ) 物品販売 目標金額 850,000円

きょうされんの物品販売のカタログを利用し年4回取り組んでいます。毎回利用して頂けるお得意様が少しずつ増えてきています。お得意様に継続して利用して頂けるよう取り組みます。また、引き続き新規のお客様の獲得に努めます。目標金額を決めて取り組んでいきます。

(キ) 喫茶 目標金額 4,000,000円

利用者のできることを見つけながら、清掃や接客の仕事ができるよう支援します。利用者が喫茶に関わる機会を増やします。

## エ. その他の活動

(ア) 調理・レク

調理活動は班ごとに3ヶ月に1回ローテーションで取り組みます。自治会でメニューと役割を決め、前日には、利用者と一緒に買い物に行きます。見通しを持ちながら期待の持てる活動にします。

(イ) 旅行

班ごとに旅行を企画します。現在流行しているウイルスなどへの感染予防なども考慮し、日帰り旅行も含めて検討し、安全を最優先に考え計画します。自治会を通し、利用者みんなの意見を取り入れながら、つくりあげていきます。

(ウ) クラブ活動「フラワーセラピー」

自治会で確認しながら2ヶ月に1回クラブ活動を楽しみます。ボランティアの先生に来ていただき、フラワーセラピーを行います。

(エ) ウォーキング・散歩

季節を感じながら、のんびりと歩く時間を大切にします。外に出ることで気分転換になり、一定のテンポで歩くことは精神の安定につながります。体力の維持にもつながるよう日々の活動の中でウォーキングを行います。

(オ) プール

プール活動が取り組めるように、体制を検討します。身体を大きく動かす活動として楽しく、かつ安全第一に行います。

## オ. 消防計画

避難訓練は毎月1回行います。職員と利用者で身の安全の確保や避難経路の確保などを中心に行います。AEDの使用法の講習会を年に一回行います。総合訓練を計画し、全体で連携して行います。

カ. スケジュール計画

(ア) 1日

時 間	なのはなグループ・ ちゅーりっぷ班・だるま班	スタッフ
8:30		朝礼
8:40		送迎開始
9:00		準備・会議等
9:30	受け入れ開始	受け入れ支援
10:30	朝の会・ラジオ体操 室内作業 外作業 (休憩) 室内作業 外作業	活動支援
12:00	昼食・休憩	昼食支援 片付け・活動準備
13:30	室内作業 外作業 (休憩)	活動支援 ↓
14:30	室内作業 外作業	
15:00	帰りの会	送迎・片付け
15:30	送迎	会議
16:00		終礼
17:00		

(イ) 1週間

	月	火	水	木	金
午前	・外作業 ・室内作業 ・ウォーキング グ	・外作業 ・室内作業 ・ウォーキング グ	・外作業 ・室内作業 ・ウォーキング グ	・外作業 ・室内作業 ・ウォーキング グ	・外作業 ・室内作業 ・ウォーキング グ
午後	・外活動 ・室内作業 ・創作 ・ウォーキング グ	・外活動 ・創作 ・ウォーキング グ ・自治会	・外活動 ・室内作業 ・創作 ・ウォーキング グ	・外活動 ・室内作業 ・創作 ・ウォーキング グ	・外活動 ・室内作業 ・創作 ・ウォーキング グ

・外作業…

資源回収・おろし、広報(チラシ)配布、情報誌ばど、空き地整備、喫茶

(ウ) 1年間

月	事業所内の行事	地域などの行事
4月	歓迎会	
5月		
6月	利用者健康診断、なのはなグループ宿泊行事 ※	
7月	だるま班宿泊行事※ きょうされん夏季物品販売	
8月	きょうされんデザインコンクール作品応募 夏季休業	
9月	ちゅーりっぷ班宿泊行事※	いのちかがやけ作品展
10月	新入所者・成人を祝う会(法人全体) 「わたしたちの作品展」開催※	きょうされん全国大会
11月	きょうされん冬季物品販売 手作り品販売会開催※	
12月	びゅああと展作品応募、 クリスマス会、冬期休業	
1月	きょうされんバレンタイン物品販売	
2月		びゅああと展
3月	きょうされん春季物品販売、ボーナス支給	

・毎月1回…各班レクリエーション、体重血圧測定、避難訓練、給料日

※印…日程変更あり

### 3) なかまの家

#### ア. 重点課題

(ア) 給食をおいしく安全にたべられるようにしていきます。

一人ひとりにあった食具・食形態・姿勢などを引き続き見直していきます。口腔ケアとして歯列表を作成し口腔内の把握、食後の仕上げみがき・マッサージなどをご家庭・医療と連携しながら実施していきます。また給食の委託先と情報共有をしていきます。

(イ) 安心・安全に利用できるように環境を整備します。

利用者が安全にトイレを利用できるように手すりを設置します。また衛生面から配膳室に滅菌庫(消毒庫)を設置していきます。

(ウ) 活動の目的を明確にし取り組んでいきます。

活動の目的を明確にし取り組めるよう年間計画・実施目的を作成し、実施後は振り返り利用者の姿にあった活動内容に修正しながら実施していきます。

(エ) 業務分担の整理をしていきます。

事業所の実態にあわせ業務分担内容を変更しています。職員全体で確認し検討しながら進めていきます。

(オ) 年間計画をたて研修に参加します。

職員の研修の年間計画をたて順次参加し勉強していきます。また口腔ケアの方法や、食事時の窒息に対する対応方法などもスタッフ全員で研修していきます。

#### イ. 各班の重点課題

##### (ア) りんご班

ア) 一人ひとりのペースに合わせてながら集団の活動に参加できるように支援します。

イ) 体を動かし気分転換をします。また、体の機能の維持やリラックスのためにマッサージやストレッチ等も行います。

##### (イ) さくら班

ア) 自治会で写真や絵などの資料を使いながら視覚的にわかりやすく話し合いを行います。選択肢がある場合は写真などを一人ひとり指さして貰うなどしてみんなが参加できるようにします。

イ) 活動後に成果を発表し、みんなで達成感を共有します。

#### ウ. 仕事

売り上げ目標金額と取り組み内容

(ア) 資源回収 目標金額 150,000円

回収を通して地域とのつながりを大切にします。回収先の整理・検討、また、回収チラシの配布範囲の見当も行います。

(イ) 缶つぶし

夏場の熱中症対策の検討をします。空き缶の回収量が減っているため、この

作業をどのように行っていくのかを検討します。

(ウ) パック整理・卸し 目標金額 20,000円

回収してきたパックの出し入れを利用者と一緒に安全に行います。卸しに行く時期など計画を立てて行います。

(エ) 市報配布・ばど配り 目標金額 360,000円

配布する前に配布する物とエリアの確認をします。季節に応じて配布できるよう年間計画を作成します。取り組みやすいよう個々の支援のガイドラインを作成します。

(オ) チラシ配り 目標金額 10,000円

年に2回~3回、市内チラシ配りの下請け配布を引き続き行います。

(カ) 自主製品 売上目標 50,000円

昨年度に引き続きピンオープナー・刺繍、陶芸品を作成します。また、今年度はミニさきおりやクロスステッチ、販売品(自主製品)につながるものの検討を行います。

(キ) ポーナスへの取り組み 目標金額 900,000円

カタログの配布数や配布エリアの見直し、拡大を検討します。年間計画を作成し取り組みます。

(ク) お茶・ペーパー・ふきんの注文・販売 目標金額 310,000円

ペーパーについては、受注があるため引き続き仕入れ販売を行います。お茶の注文販売に関しては年間計画を作成したうえ販売時期の検討を行います。

## エ. その他の活動

(ケ) 自治活動

全体と班別に分けて行います。内容の資料や写真などを用意し、利用者が参加しやすい工夫を行います。また、スタッフの雰囲気作りも大切にしていきます。ホワイトボードの購入をします。

(イ) 陶芸・創作活動

陶芸は、工房の先生と一緒に制作するものや使用する道具などを検討し年間予定を作成します。必要があれば粘土・道具など購入します。作品の制作者名の記入を徹底していきます。

創作は、筆や筆に代わる道具を使って描いて、施設の作品展を開催し地域の方々に見ていただいたり、市や市外で行われる作品展、コンクールに積極的に応募していきます。活動の年間計画を立て、活動や作品展に必要な備品を購入して行きます。

(ウ) ウォーキング・プール活動

2班分けし隔週で行っていきます。十分な人員を配置し、安全面を確保して活動を行っていきます。

(エ) 調理活動

りんご班は、利用者に合った道具を使用し取り組みます。

さくら班は、写真などを利用して利用者と一緒にメニューや、買い物、担当する役割などを自治会で決めながら行います。

各班とも、支援についてや注意点のガイドラインを作成します。

(オ) 手芸・さきおり

ビンオープナーや刺繍を行います。年間計画を作成し完成した刺繍をどのように製品化していくかを計画に入れながら、材料の購入します。また、ミニさきおりの検討をします。

(カ) レクリエーション

それぞれの利用者のニーズやペースの違いなどから、3班に分け行います。年間計画を作成し計画に沿ったレクリエーションを行います。また、目的を明確にし、自治会で利用者と確認しながら行います。

(キ) 旅行

東京オリンピック開催や、新型コロナウイルスの影響などで、今年度は縮小して行うことも視野に入れ検討をすすめます。利用者の安全を第一に目的を明確にし計画を立て行います。

#### **オ. 消防計画**

火災・地震訓練（部分訓練）や、総合訓練なども年間計画的を作成し行います。災害時に必要な備品の整備を定期的に点検し必要なものは購入していきます。水害（冠水）についてもどのような対策が必要か、ハザードマップなど見ながら引き続き検討します。

カ. スケジュール

(ア) 1日

時 間	りんご班・さくら班	スタッフ
8:30		朝礼
8:40		送迎開始
9:30	受け入れ開始	準備・会議等
10:00	朝の会・ラジオ体操 室内作業 外作業 (休憩)	活動支援
12:00	室内作業 外作業 昼食・休憩	昼食準備 昼食・昼食支援 片付け・休憩
13:30	室内作業 外作業 (休憩)	活動支援
15:00	室内作業 外作業 帰りの会	送迎
16:00	送迎	片付け・清掃・会議
17:00		終礼

(イ) 1週間

	月	火	水	木	金
午前	・プールA班 B班隔週 ・外作業 ・室内作業	・外作業 ・室内作業	・外作業 ・室内作業	・外作業 ・室内作業	・外作業 ・室内作業
午後	・外活動 ・室内作業	・外作業 ・室内作業	・自治会 ・室内活動 ・外活動	・外作業 ・室内作業	・外作業 ・室内作業

・外作業…資源回収、バック卸し、広報（ぼど、チラシ）配布、買い物、ウーキング（散歩）、缶つぶし

・室内作業…バック整理、広報折り、調理活動、創作活動（陶芸、絵画など）さきおり、手芸、マッサージ・ストレッチ、

※自治会…毎週1回実施 室内レク年数回実施 体重血圧測定…毎月1回実施

(ウ) 1年間

月	事業所内の行事	地域などの行事
4月		
5月		
6月	新茶販売	
7月	きょうされん夏季販売（利用者ボーナス取り組み）	
8月	きょうされんグッズデザインコンクール応募 ※全体レク	
9月	利用者健康診断 9月30日（水）	いのちかがやけ作品展
10月	利用者健康診断 10月21日（水） ※新入所者新成人を祝う会／こもれびホール（法人合同）	
11月	きょうされん冬期販売（利用者ボーナス取り組み） インフルエンザ予防接種 ※なかまの家みんなの作品展・販売会 お茶販売	
12月	※全体レク・クリスマス会 お茶販売	
1月	きょうされんバレンタイン販売（利用者ボーナス取り組み）	
2月		ぴゅああーと作品展
3月	ボーナス支給	

- ・毎月1回…各班レクリエーション、体重血圧測定、避難訓練、給料日
  - ・班別旅行…日程・内容は未定
- ※印：日程・内容の変更あり



## 2 生活寮部門

### (1) 重点課題

利用者一人ひとりの暮らしを大切にしていくために、それぞれの生きてきた歴史と5年先の暮らしの見通しをスタッフや家族関係者で共有していきます。生活寮が開設して23年が経過し、今後加齢に伴う体調の変化や家族の高齢化、制度上の65歳問題などさまざまな課題があります。

こうした課題は、一人ひとりの暮らしの中で解決していくことが大切だと考えています。制度などに振り回されず、障害当事者が自ら暮らしたい生活、親御さん兄弟がこんな暮らしを送って欲しいといった願いを大切に一人ひとり違う課題を解決しながら支援をしていきます。

1) 入居者一人ひとりがその人らしい生活を送るための支援を行います。

一人ひとりのニーズや状況に合わせて、必要な場合は通院同行や訪問看護の受入れなど医療支援についても家族との連携を図っていきます。

また、スタッフ配置ができたことで、利用者それぞれの寮での暮らし方にも豊かさを感じられる支援を行っていきます。

2) スタッフ同士の情報を共有し、報告、連絡、相談を組織的に行います。

月に1度の職員会議の他に、ユニット会議(うみそら・にじかぜ)を定期的(月に1度)に開催。また、責任者会議を設け、各ユニット・事業所間の状況を把握できる仕組み等を充実します。さらに必要な会議(女性寮・男性寮会議)も開催します。また、通所への研修を実施し、日中でのさまざまなとりくみをしている利用者の姿を見て、通所の職員との連携を強化していきます。

3) 365日利用に対応した体制づくりをめざします。

現在28名の利用者の生活を支援していますが、利用者だけでなく家庭支援も必要な場面も出てきています。365日支援に向けて、それぞれの家庭と連携し利用者支援していく体制づくりに着手していきます。また、土日休日の日中支援への対応として、寮としての行事の計画も検討していきます。さまざまな経験ができる取り組みの中で、利用者のもっている生活力を発揮する場面を保障することも大切な支援と考えています。

## (2) 各事業所の計画

### 1) 生活寮そら

#### ア. 重点課題

##### (ア) 生活環境を整えます。

入居者自身が自らの生活を作っていく環境づくりを大切にします。

##### (イ) 加齢に伴う健康・体調の管理を丁寧に行なっていきます。

事業所間の連絡事項を表などの書面と電話での直接的な方法などと併せて行い、連携の強化を行なっていきます。また、通院同行など、医療との連携を図ります。一人ひとりに合った食形態・食事を日中事業所や専門機関と連携を図りながら考えていきます。

過ごし方を寮でもできる環境を整備しながら、利用者本人の生活力や要求を引き出し「自分のくらし」づくりのサポートを心がけていきます

### 2) 生活寮にじかぜ短期入所

#### ア. 重点課題

##### (ア) それぞれの利用者のニーズに沿った支援を行います。

利用日や支援についてかかわるスタッフと情報を共有しやすい仕組みを作っていきます。

##### (イ) 60%の稼働率をめざします(平成30年度の稼働率:約45%の見込)

計画相談事業と連携をはかり、新たなニーズの掘り起こしを行います。1泊のみの利用だった利用者の連泊などを検討し利用日数の増加をめざします。

また、前年度からの課題で人員の確保ができず体制が整わなかったことから一部受付ができなくなりましたが、人員を確保し受け入れの数を増やしていきます。

## (3) 共通事項

### 1) 食事

食事宅配業者に献立と食材の選定・配達において委託をしています。献立においては、その業者内の栄養士に任せてはいますが、寮の一人ひとりのその時々に応じた健康状態に見合ったかたちでは、提供ができていません。知的に障害の重い方々も多く、食事摂取の実態(咀嚼や嚥下状態)については、年を重ねていくにつれて、よりていねいに視点をおく必要があります。業者や専門家の力もかりつつ、スタッフも知識を身につける学びの機会を増やし、食事の形態だけにとらわれない「食事の楽しみ」も、利用者本人の思いをくみとりながら追求していきます。

### 2) 健康・医療について

体温コントロールや排泄リズム、加齢を伴う体調変化など、日常の様子を丁寧に見守ります。日常の様子はもちろん、体調の急変時も、その情報をスタッフ間、事業所間で共有し、主治医など医療の専門職の意見も取り入れながら、客観的、多角的な視点をもって対応策を考えていきます。体調不良時の際は、通院同行や

利用者にとって最善な「療養」の場としての寮利用についても、スタッフ体制を他事業所とも連携しながら対応できるようにしていきます。

### 3) 消防訓練・防災管理等について

ユニットごとで利用者の障害の特性や個別のニーズに合わせた避難の仕方を考えていきます。年1回の消防団員が来た時の訓練では、消火器訓練を中心に計画をしていきます。防災管理については、防火・防災管理者講習の受講者を増やしスタッフ全体の防災意識を向上します。備蓄品確保や防災グッズの購入・個別の避難セットなどの整備を行い緊急時に備えます。

### 4) 職員に関する計画について

定期的な会議を行い、情報共有・意見交換の場を確保していきます。また、日中部門の会議に参加し法人全体の情報の共有も出来るような仕組みを作っていきます。

幅広い障害についての学習や暮らしの支援、健康面での支援など暮らしにかかわる分野は、年々多岐にわたってきています。専門家のアドバイザーを招聘して、通年で実践の質を向上していく仕組みを作っていきます。

外部研修には積極的に関わられる仕組みを検討し、入居者に対して広い視野で柔軟な支援が行えるようにします。

### 5) 地域との連携について

地域の自治会活動への参加をめざしてきていますが、なかなか実行に至らない状況です。障害のある方に対する理解や災害時等に地域の方にも協力をいただくためにも、引き続き検討し地域との連携を深めていきます。

### 6) 環境整備について

今年度は、エレベーター修繕工事を予定しています。今後の予定として、その浴室の改修工事を検討しています。具体的な改修の内容について今年度中に検討し次年度工事をめざします。また、建築工事費の借入金の返済が計画通り進み、利用者からの家賃分から土地の賃借料を引いた額により、生活寮の環境整備を進めていきたいと考えています。特に災害に強い寮をめざして環境整備に力を入れていくために今年度中に計画を検討し、次年度に実施していきたいと考えています。

(4) スケジュール

1) 1日の流れ

時間	寮の動き	スタッフの動き
15:45 16:00	各作業所より帰寮	打ち合わせ・受け入れ準備 送迎受け入れ 賄スタッフ夕食準備
18:00	思い思いに過ごす (入浴) 夕食 入浴 リビング消灯	配膳・投薬等 入浴介助 各書類等記入
21:00	起床	就寝支援・事務作業等 賄いスタッフ朝食準備
6:00	朝食	配膳・投薬等
7:00	各作業所へ	送りだし
9:00		掃除・申し送り

2) 年間行事

月	寮を利用されている方	スタッフ
4月		
5月		健康診断
6月		
7月		
8月	お盆休み	
9月		全国大会参加
10月		
11月		
12月	クリスマス会	
1月	年末年始イベント	
2月		健康診断
3月		

※誕生日献立は、寮にいる方みんなでお食事をしてお祝いをします。

※責任者会議を週1度、ユニット会議と全体会議を定期的に月1度行います。

※消防訓練を各ユニットで行っています。

### 3 余暇・居宅部門

#### (1) 重点課題

1) 実践会議、職員会議を定期的で開催し、利用者の状態・状況を確認し合います。活動前の打ち合わせの際、各グループでの遊びや活動の情報を共有する場を設けます。

2) 各学校、子供家庭支援センター、児童相談所、発達相談室、相談支援部門病院と連携を図ります。

3) 家庭環境に課題のあるケースに関しては関係機関との連携を図り支援していきます。

4) 障害が発見され悩んでいる父母をフォローし、行き場のない未就学児を積極的に受け入れて対応していきます。

5) 様々な理由で不登校になった子ども達が学校に行くことができるようになるまで関係機関と連携して安心して、定期的に過ごせる場を設けます。

#### (2) 各事業所の計画

##### 1) 放課後等デイサービス

###### ア. 重点課題

(ア) 関係機関と連携し、いつでもやり取りをすることが出来る環境を作ります。子どもたちにとって安心して過ごせる場所を提供します。

発達相談室、教育相談室、児童相談所、こども家庭支援センター、病院、学校、他事業所と子どもたちの活動や様子について情報を共有します。また必要に応じて関係機関と速やかにケース会議を開き、子どもたち一人ひとりに合った支援を見出し、実践します。

(イ) 発達相談室、教育相談室、児童相談所、こども家庭支援センター、病院、学校、他事業所と子どもたちの活動や様子について情報を共有します。

必要に応じて関係機関と速やかにケース会議を開き、子どもたち一人ひとりに合った支援を見出し、実践します。

(ウ) 人との触れ合いの中で、社会性を身に付けながらスタッフと共に成長します。集団での遊びを通して、約束やルールを守れるようにします。

遊びの中で楽しく学習すること、集団の中で手を使うことで操作性が身につくようにします。また、個別で遊ぶ場合でも同じ空間で相手を意識できるような環境作りも行っていきます。

(エ) 生活していく上でごく普通と思われるような活動（昼食作り、おやつ作りなど）を積極的に取り入れていきます。

子ども達と一緒にメニューを考えたりレシピを作ったり準備します。将来を見据えて、自分で作ることができるように活動も工夫していきます。

長期休暇の時は、時間にゆとりがあるので子ども達と昼食作りをしています。学齢期という大事な時期の為にただ作って食べるだけではなく、食物形態、栄養、食べることの文化（季節の旬な食材を使用する）にも配慮をして

いきます。

**(オ) 地域の人達と交流ができるように公共施設等に出掛け、行事に参加します。児童館など地域の子ども達と遊ぶことができる環境を提供します。**

様々な行事に参加し、多くの人と関わりが持てるようにします。

**(カ) 安心して活動に参加できるようにします。**

火災、地震などの避難訓練を定期的実施します。また、手洗い・うがい・検温などの予防といった環境整備を行います。また、体調が悪くなり帰宅する場合にスムーズに親御さんに引き渡せるように緊急連絡先の整理も行います。

**(キ) 誰もが安心して利用できる「放課後等デイサービス」になるように事業所や関係機関とやり取りを行っていきます。**

放課後等デイサービスには様々な制限や規制があり、安定した運営が困難な状況にあります。放課後連や市内事業所間で連携を密に行い最新の状況を確認しあっています。引き続き、お互い協力しあい安定した運営を行えるようにしていきます。

## 2) 移動支援事業

### ア. 重点課題

**(ア) 法人内生活寮の成人の方のニーズに応じていけるようスタッフ体制を整え、市内だけではなく、市外の広域にも求人募集を行います。**

必要に応じて生活寮とケース会議を行い、利用者の実態やニーズを把握します。また、急な予定変更にも対応できるように事前から準備を行っていきます。

**(イ) 利用者個々の支援方法を統一化します。**

ケース記録を残し、統一した支援ができるようスタッフ間での情報提供を行います。また、支援の目的を明確にします。

**(ウ) トラブルがおこってしまった時に備えてマニュアル・ヒヤリハット報告書をスタッフ会議などで確認し合います。**

屋外での活動が多い為、支援中のトラブルに落ち着いて対応できるようにスタッフ会議で確認したり、掲示したりしていきます。

**(エ) 利用者の将来を見据えての支援を行って行きます。**

利用者が将来、自分で登校、帰宅ができるように利用者本人が考えて行動できるような支援体制を整えます。また必要なときには、本人専用のカードなどのツールを作り支援に役立てていきます。

**(オ) 移動支援をさらに利用しやすくする為に関係機関とやり取りを行います。**

移動という生活の一部を安心・安全に利用できる制度になるように事業所間で集まり情報交換を行ったり、関係機関とやり取りを行います。

### 3) 日中一時支援事業

#### ア. 重点課題

(ア) 家庭環境に課題のある家族が安心して利用できる場を提供していきます。

保護者と学校、その他関係機関と連携を取り、利用者の実態や家庭状況を把握し、個々に合った支援を行います。また、定期的に振り返りも行い支援に繋げていきます。

(イ) 利用者個々の支援方法を統一化していきます。

支援を記録に残し、統一した支援ができるよう、スタッフ間での情報提供を行います。また得た情報は管理を徹底します。

(ウ) 日中一時支援をさらに利用しやすくする為に関係機関とやり取りを行います。

様々な理由で利用が多くある制度です。安心・安全に利用できる制度になるように関係機関とやり取りを行います。

(エ) 日中一時利用に関して安定した利用ができるように、定期的に制度について説明を行ったり、依頼表などの申し込み記入を利用者をお願いしていきます。

#### (3) 消防計画

事前に計画を担当者が立て、職員みんなで話し合いながら定期的に避難訓練を進めていきます。そのため、訓練の内容・実施方法は、パート職員を含めて多くの人に伝える事で、このみ全体の防災意識向上につなげられるようにしていきます。また、非常時の訓練としてレトルト食品をこどもたち自身で温めて食べる計画を行い実施します。

市内の子ども達の利用が中心なので保護者が迎えに来るまでの間分くらいの水、レトルト食品などを備蓄しておきます。

(4) スケジュール

1) 1日

授 業 日	13:00～	送迎	休 業 日	10:00	活動開始
	13:30～17:30	活動開始		12:00	お昼
	17:30	あいさつ 送 迎		13:30～16:00	午後活動開始
	17:30	家族お迎え		16:00～	あいさつ 送迎
				16:00	家族お迎え

【主な活動内容】

昼食作り（長期休暇中）・おやつ作り・ゲーム・創作・外遊び・買い物

2) 1週間

	月	火	水	木	金
午 前	(授業日) ・学校 (休業日) ・買い物 ・昼食作り	(授業日) ・学校 (休業日) ・買い物 ・昼食作り	(授業日) ・学校 (休業日) ・買い物 ・昼食作り	(授業日) ・学校 (休業日) ・買い物 ・昼食作り	(授業日) ・学校 (休業日) ・買い物 ・昼食作り
午 後	(授業日) ・おやつ作り ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキン グ (休業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキン グ ・プール(夏 季のみ)	(授業日) ・おやつ作り ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキン グ (休業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキン グ ・プール(夏 季のみ)	(授業日) ・おやつ作り ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキン グ (休業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキン グ ・プール(夏 季のみ)	(授業日) ・おやつ作り ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキン グ (休業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキン グ ・プール(夏 季のみ)	(授業日) ・おやつ作り ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキン グ (休業日) ・室内遊び ・外遊び ・ウォーキン グ ・プール(夏 季のみ)

3) 1年間

5月	こどもまつり
7月	清瀬特支夏祭り イリアンソス夏祭り
8月	夕涼み会 おひさまサンサンフェスティバル
10月	ハロウィンパレード
12月	にぎやかカーニバル
3月	ぼかぼか春の集い



## 4 相談部門

### (1) 重点課題

1) 引き続き法人内事業所の方を中心に計画相談・モニタリングをおこなっていきます。

ご本人・家族との信頼関係を築いていけるよう面談等を丁寧に行っていきます。本人中心の計画にしていくために、本人の生活に関わりのある支援関係者からも話を聞いていきます。

2) 障害のある方を中心に家族・関係者のつながりを大切にしていきます。

担当者会議・支援会議等を開催し本人の思いや希望を確認しあいながら、その人らしい暮らしに向けて、役割分担等をしていきます。関係する事業所の個別支援計画につなげていけるよう連携していきます。

3) 相談支援の役割や今後の進め方について考えていきます。

定期的な相談支援部門会議で検討していきます。また、他相談支援事業所と情報交換をおこなう等連携し、外部研修にも積極的に参加していきます。

## 5 事務部門

### (1) 重点課題

1) 環境の整備を進めます

ハード面での整備も目途がつかしました。次はソフト面での整備を進めていきます。現在取り扱っているソフトが事務の一本化に沿っているものかの確認も含め、引き続き、現場の職員と連携をし、仕事のしやすい環境の整備を行なっていきます。

2) 事務員の能力向上を進めていきます。

今年度は育児休暇から復帰する職員がいます。また、寮での事務作業を整えていくために1名パートで職員を募集しています。現在使用しているソフトの理解度を深め、能力の向上をしていきます。また、事務関係の研修だけでなく、法人内外で開催されます福祉についての研修にも参加をすることで、仕事の質を高めていきます。

今年度は、次年度へ向けて消費税の入力が始まります。上記の通り、研修をすることで作業の効率を上げていくだけでなく、職員間でのコミュニケーションも大事に、より正確な入力作業に努めていきます。

また、勤怠ソフトを導入することで、事業所間の職員勤務や事業所における職員の勤怠状態を随時把握できるように、各事業所のシフト管理者と連携をとっていきます。

事務員は事務をするだけでなく、現場との連携が当法人にとって重要なスキルの一つと考えています。日々の作業にとらわれることなく、利用者を中心にした組織を支えていく職員となることを目標にしていきます。

